

## クイックバー 要領

### ① 補修部例

道路、工場、駐車場等、アスファルト路面を見渡せば様々な、クラックやハガレが容易に目に止まります。しかし、これらを補修するとなれば、意外と大変です。クイックバーは、写真のように小規模で一部の補修をする目的で、簡単に、且つ、性能が保てるように開発された補修材です。

道路の直線クラック



縁石と道路間のクラック



道路の複雑なクラック



道路のハガレ



この他、アスファルト工事の仕舞い補修にも最適です。





補修前クラック

巾:10~40mm 長さ:1000mm  
深さ:5~30mm  
クイックバーS及Lを併用



クラック部の清掃



クイックバー一枚の長さをバーナーで60℃~80℃に加熱する。  
密着性向上・水分、油分蒸発



クイックバーの表面に艶が出る程度加熱する。





加熱面を下にし、クラックに乗せ  
上面も艶が出る程度加熱しながらコ  
テでクイックバーを潰すようにクラ  
ック部へ押し込む。



材料配りが出来たら、コテを加熱し  
ながら仕上げてゆく。



補修完成



完成後、砂・石粉をまくとタック(粘  
着性)が無くなりベストです。  
冷めれば路面解放 OK です。  
急ぐ場合は、水をかけて冷やしてく  
ださい。





補修前：巾 300 mm×1200 mm

以前にアスファルトのみで補修したが、不備な為クイックバーで全面補修した。



清掃



補修部の加熱

補修部が広い為プロパンガスバーナーを使用。



クイックバーの表面に艶が出る程度加熱する。





加熱面を下にして、補修部に乗せ  
上面も艶が出る程度加熱する。  
ある程度のクイックバーをまとめて  
加熱しておく。



カセットバーナーを使い、仕上げ  
てゆく。



補修完成



完成後、石粉をまくとタック(粘着  
性)が無くなりベストです。  
冷めれば路面解放 OK です。  
急ぐ場合は水をかけて冷やして下  
さい。